

暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。運動会に向けての練習で活動量も更に増え、めいっぱい体を動かすことが程よい空腹感につながり、楽しく給食の時間を過ごすことができます。



|| 食事のマナー ||

園では給食の時間に、年齢や発達をふまえながらマナーについて言葉がけを行い、スプーン・フォーク・お箸の持ち方や使い方を習得しています。

つくし組

「いただきます」の言葉と一緒に手を合わせてあいさつをしてから、食事をします。手づかみ食べが上手にできる子どもも増え、手の動かし方や食べ物、口との距離感、一口量などを習得しています。



たんぽぽ組

机に向かってまっすぐ座る、足は床につける、食器に手を添えて食することなどを伝えています。スプーンですくにくい時は保育教諭が手を添えながら一緒にすくい、スプーンの使い方を習得しています。



こすもす組

背中を伸ばして足をそろえて椅子に座ること、よく噛んで食べることを伝え、今後のお箸の持ち方に活かせるよう、フォークの正しい持ち方を呼びかけています。



いちよう組

秋以降に箸の使用を開始したいと考えていますが、移行がスムーズにできるよう正しいフォークの持ち方をおさらいしています。お皿には手を添える、茶碗や汁椀は持って食べることも呼びかけています。



ぽぷら組

箸の持ち方や使い方が自己流になっている時は言葉をかけると正そうとする姿が見られます。茶碗や汁椀の正しい持ち方、肘をついて食べないこと、食べ物が口に入ったまま話をしないことなどを伝えています。



けやき組

姿勢、箸の持ち方や使い方、食器の並べ方、茶碗や汁椀の持ち方など、自分たちで注意して食事する様子や、お箸の持ち方に自信のないお友だちにやさしく教える様子も見られます。



あいことばは「こしピン、あしペタ」



- 腰、背中をのばして座る
→**こしピン!**
- 床に足をつける
→**あしペタ!**
- テーブルにひじをつかない
- 皿に手を添え、茶碗や汁椀を持つ

箸の持ち方と使い方

- ① えんぴつを持つように箸を1本持つ
- ② もう1本の箸を親指の付け根と薬指の第一関節で固定
- ③ 人差し指と中指を使って、上の箸だけうごかす



けやきぐみでとうもろこしを収穫しました

5月に植え付けを行ったとうもろこしの収穫を行いました。育てたのは一般的なスイートコーンではなく、ポップコーンを作ることのできる爆裂種（ばくれつしゅ）という品種です。協力しながら収穫して皮をむき、「黄色いつぶがいっぱいあるよ」「こっちは白くてつぶが少ないよ」など、自分たちで育てた野菜を収穫できたことに達成感と喜びを感じる子どもたちでした。



おいしいポップコーンができるように乾燥させています